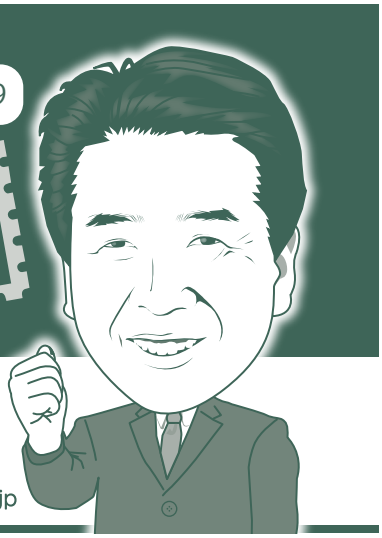
札幌市議会 市政報告 vol.18 2018.9

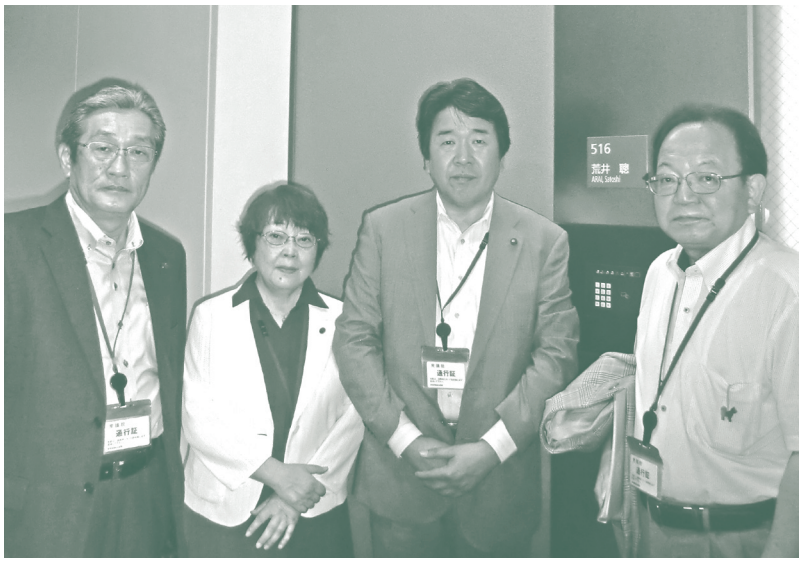
林せいじ 市政だより



市民が主役の街づくり。

［発行者］札幌市議会民主市民連合
〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目 ☎011-211-3212
林せいじ事務所 〒002-8025 札幌市北区篠路5条2丁目3-14
☎011-775-6321 FAX011-775-6322
URL http://hayashi.main.jp/ E-MAIL hayasi-seiji-jimusyo@biscuit.ocn.ne.jp

札幌市の将来に向けた中央要望を実施しました



衆議院議員会館で会派議員と

札幌市議会は４月から新たな委員会構成で札幌市の発展に向けた取り組みを進めています。

今年度､私「林せいじ」は常任委員会では「総務委員会」の委員長、特別委員会は昨年に引き続き「大都市税財政制度・人口減少対策」調査特別委員会の副委員長として議会運営の舵取り役として活動しています。

総務委員会は所管事項として、総務、人事・庁舎管理、まちづくり計画、消防、危機管理・防災関係などがあり、幅広く重要な委員会です。大都市税財政制度・人口減少対策調査特別委員会では毎年国の翌年の予算編成に対して中央省庁や国会議員への要望を実施しています。今年は７月30日・31日に実施しました。札幌市も若干ですが、税収が増加していますが、その分国からの交付税が減少しています。今後の札幌市の将来を考えた、国への要望も大事になってきています。また国会議員への要望は会派ごとに北海道選出議員へ、札幌市の政策などを説明しながら理解協力を求めてきました。

札幌市は政令指定都市となり、冬季オリンピックを開催した1972年に大きく都市として成長していて、多くの建物、公共施設などが、50年を迎える中で、今後の建て替え需要などをコントロールして経費縮小をはかることも必要となってきます。50年先の都市の在り方などを検討し、市民生活を守る取り組みが求められています。今後も札幌市の持続的発展に向けた施策実現に意見提言していきます。

札幌市議会議員　林 せいじ

2019年度 予算に関する 中央要望

北海道新幹線（新函館北斗－札幌間）の早期完成　総務省、財務省、国土交通省

1　新函館北斗・札幌間の早期完成

▶全国を上回るスピードで人口減少が進む北海道では、道内経済の活性化が急務となっている。

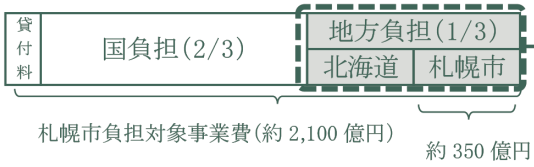
▶新幹線効果を全道に波及させるため、札幌開業に向けた着実な事業の推進、さらには、できるかぎり早期の完成を要望。

2　建設財源の確保及び地方負担に対する財源措置

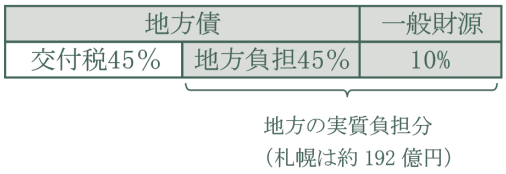
▶今後の北海道全体の人口動態を考慮し、道都である札幌市として、新幹線建設費に占める地方負担分のうち5割を負担している。

▶安定的な事業実施に向け、幅広い観点からの建設財源確保及び地方負担のうち地方債充当分に対する交付税措置率の引上げ（50%→70%）の条件緩和など、財源措置の更なる拡充を要望。

【整備新幹線の財源スキーム】



【地方負担の内訳】

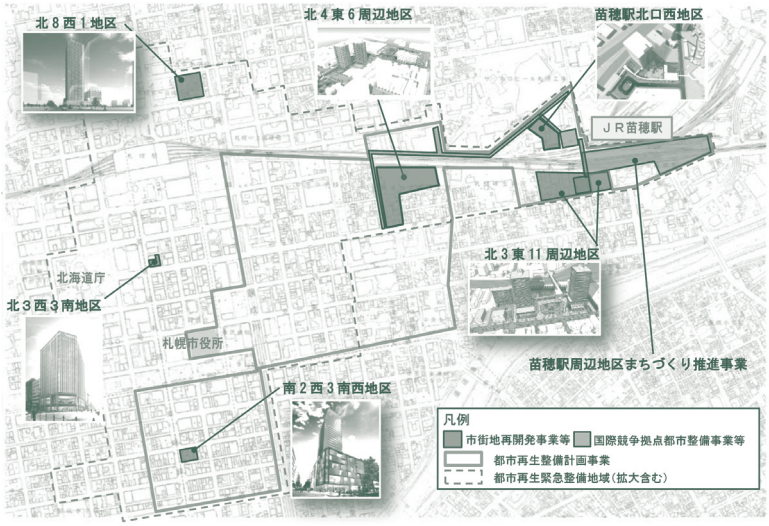


国際競争力の強化に向けた都市の魅力向上　総務省、国土交通省

都市機能の充実に向けた都市開発事業等への支援

▶札幌の街の魅力・求心力を一層高めて、国内外から多くの人々や企業を引き付け、民間投資を呼び込むため、市街地再開発事業をはじめとする都市開発事業等に対し、引き続き十分な財源措置を要望。

▶札幌市では、まちづくりに路面電車を活用することとし、ループ化、低床車両の導入などを進めてきており、今後は利用者増加等の効果をさらに向上させるため、路面電車施設の整備に対し、引き続き十分な財源措置を要望。



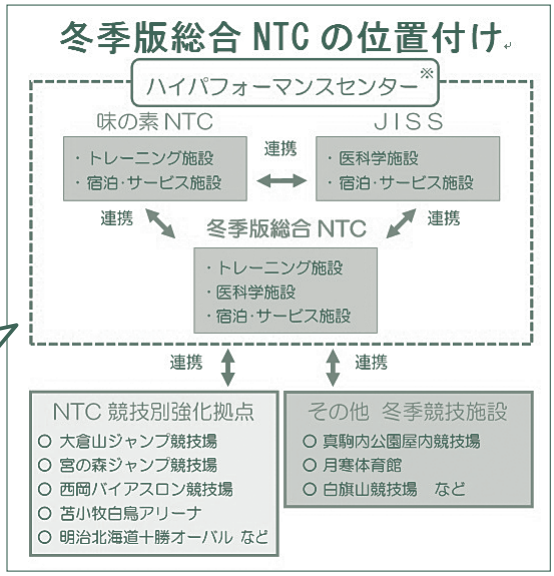
冬期スポーツ振興について　内閣府、文部科学省

1 ナショナルトレーニングセンターの建設

▶冬季競技の練習環境充実を目指すために発足予定の協議会の動きと連動し、冬季版総合ナショナルトレーニングセンター（NTC）の札幌への建設を要望。

▶NTC競技別強化拠点の指定拡大と拠点機能の充実に向けた支援を要望。

ハイパフォーマンスセンターは平成28年4月にJSCに設置された「JISSとNTCの連携」及び「JOC･JPC、JSCの連携」のための組織



2 国際大会招致と国際基準に合致した施設整備への支援

▶今後も多くのスポーツ国際大会の招致及び開催を実現するため、既存のスポーツ施設をアクセシビリティも含めた国際基準に適合させるよう、必要な改修や建替更新などの施設整備の費用について財源措置の拡充を要望。

▶特に、札幌市においても開催が決定している「ラグビーワールドカップ2019」及び「東京2020オリンピック・パラリンピック」の競技実施に必要な施設改修費用について財源措置の拡充を要望。

〈参考資料〉

1972年　札幌オリンピック開催時の施設整備状況	
国が建設	○大倉山ジャンプ競技場 ……1970年　国が主体として建設 ○真駒内屋内・屋外競技場 ……1970年　国が主体として建設
市が建設	○宮の森ジャンプ競技場 ……1970年　国が建設費2/3を負担 ○月寒体育館スケート場 ……1972年　国が建設費2/3を負担 ○美香保体育館スケート場 ……1972年　国が建設費2/3を負担 ○藤野リュージュ競技場 ……1970年　国が建設費2/3を負担

林せいじ活動報告

総務委員会からのお知らせ

「札幌市防災アプリ」そなえ

7月に発生した西日本豪雨災害では、死者が7月19日現在で223人となり、その後避難所生活している方が約4,000人とも言われていました。直前には北海道でも上川・空知を中心に豪雨があり、人的被害は少ないものの、農作物などに大きな被害が出ました。

このように毎年夏になると自然災害が発生しています。地球温暖化により日本が熱帯気候に変化しているとも言われており、このような災害が毎年のこととなる懸念もあります。北海道札幌市においても、いつどのような災害が起こるかわかりません。札幌市は防災アプリ「そなえ」を公開しています。スマートフォンで札幌市ホームページからQRコードを読み込むだけでインストールできます。

「そなえ」には緊急情報表示や避難場所表示、安否情報への登録などが簡単に行えるようになっています。また、ハザードマップなども見ることができます。ぜひインストールをお勧めします。

札幌市防災アプリ「そなえ」のおもな機能

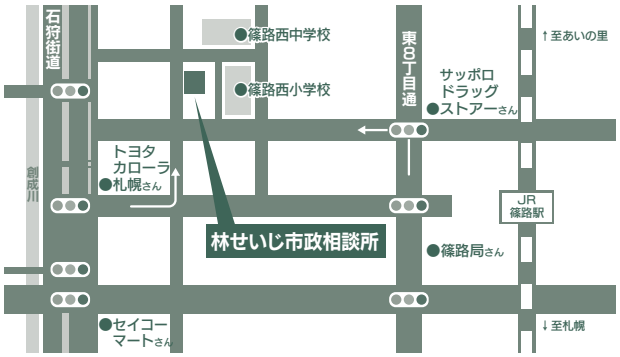
- ■緊急情報表示：避難勧告等の避難情報、避難場所設置情報、Jアラート情報、気象情報、地震情報等を表示
- ■避難場所表示：GPSによって測定された自分の位置を中心に、地震や洪水といった災害種別に対応した避難場所を表示
- ■安否情報：氏名を入力することで、災害用伝言板や報道機関が提供する安否情報といったインターネット上に登録された情報を一括検索し、結果を表示
- ■SOS表示：事前に登録した家族等のメールアドレスへ簡単なメッセージと自分の位置情報を発信
- ■エアタグ：AR（拡張現実）を活用し、現実風景に避難場所の方向と距離を重ねて表示
- ■危険度体験：AR（拡張現実）を活用し、現実風景にその場の危険（土砂、浸水）のアニメーションを表示
- ■その他、ハザードマップや防災学習コンテンツ等
- ■日本語、英語、韓国語、中国語（簡体・繁体）対応

QRコード

Android用

iPhone用

お知らせ

市政相談の際は、お気軽にお立ち寄りください。

〒002-8025 札幌市北区篠路５条２丁目3-14
TEL 011-775-6321　FAX 011-775-6322